

1. 教育の責任

大手前大学の教育目的である「豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究及び生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献すること」に基づき、担当する建築&芸術学部の芸術コース立体造形担当として、作品制作の技術研鑽は元より、発想力や独創性を持ち能動的に制作を試みる思考を育てたいと考えます。また作品が社会に接続することを学生自らが体感し発信していくことを目標とします。

■担当授業（2023年度時点）

春学期「アート体験」2単位 27名

春学期「キャリアデザインⅠ」2単位 23名

秋学期「キャリアデザインⅡ」2単位 21名

春学期「立体造形基礎Ⅰ」2単位 9名

秋学期「立体造形基礎Ⅱ」2単位 11名

春学期「ゼミナールⅠ（建築&芸術学部）」2単位 4名

秋学期「ゼミナールⅡ（建築&芸術学部）」2単位 4名

秋学期「卒業制作（建築&芸術学部）」2単位 4名

2. 教育の理念

建築&芸術学部の芸術コース立体造形分野の学生は、多様な素材やメディアを使用して彫像、塑像等の基礎的な技術から物の成り立ちや見方を学びます。また制作物と空間の関係を考えながら展示実践を試みます。作るだけでなく発表に向け独自の思考を他者に共有できる機会を経験します。

3. 教育の方法

100番の基礎科目「アート体験」では主に1回生を主体とした授業を行っています。本大学では美術制作が未経験で入学する学生も少なくありません。その上で「アート」や「美術」といった言葉を広義に捉える試みを「アート体験」で実践しています。学生たちには手に収まるものから、持ちあげるのに大人数が必要なものまで、頭の中だけではなく身体を動かして初めて獲得できるような制作体験ができるように授業計画を立てています。また一人ではなく他者と協力し合作することで、企画力やコミュニケーションスキルの向上につながります。また他者の表現や考え方を理解し、その上で自分自身の表現に向き合う機会の創出を試みます。

200番の「立体造形基礎Ⅰ」では、「自画像」に関わる立体制作を行います。自分とは何か？人間とは何か？といった問いを与え、作品制作する上でコンセプトに向き合う体験をします。目に見える物や景色、世界をリサーチし自分だけの「自画像」を作り出します。

300番の「ゼミナールⅠ（建築&芸術学部）」では学生が最も興味のあるものを掘り下げていく時間を作っています。モチーフ、素材、表現方法まで、なぜ「それ」を選ぶのかを学生自身にしっかりと考えてもらいます。後半は学生主体で制作物の展示計画をし、学内で開かれた展示発表を行います。400番の「卒業制作（建築&芸術学部）」では学生の集大成として、3回生時より掘り下げてきたテーマを扱い、クオリティとスケールを大きくした作品に向けて時間をかけ制作します。同時に卒業制作展での発表の為、最も効果的に作品が生きる魅せ方、伝え方にこだわった展示方法を模索します。

4. 教育の成果

全ての授業において講評会を実施しますが、学生は作品について言語化できるようになってきています。また授業外で学生たちが様々なコンペティションへ応募し受賞の報告も受けています。身体表現にも興味を示す学生が増え、作品とパフォーマンスを試みる学生が増え、芸術に対する解釈が、芸術コース学生内でも広がっているように感じます。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：前田 耕平 作成日：2024年1月10日

5. 改善への努力と今後の目標

現状では立体造形分野では、授業内で扱える設備や造形用の素材が少ない。近年の間に徐々に表現が規定され、素材も減少した傾向にあるようです。その為、多様な表現への価値観や思想を持った教員が集まり「立体造形」を拡張していくことが今後の目標とされる。

【添付資料】

- 2023年度 担当授業 シラバス PDF 形式

開講年度	2023		開講学期	春学期
科目コード	ZH0499	授業コード	40454	
科目名	アート体験		開講曜日・時限	木曜3限 木曜4限
担当教員名【代表】	前田 耕平			
担当教員				
授業形態	実技			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			
授業の目的	アートの面白さを体験し、幅広い創造力、造形力を高め社会生活や仕事に豊かさを育む基礎の一つとなることを目的とする			
授業の内容				
①能力開発メソッド	想像力、創造力、企画力、チームワーク、造形力、空間構成力			
②課題レポート等	各課題の制作イメージ図、製作図面、制作後のレポート。学外アートレポート			
③授業概要	企画・構成から、様々なメディアを使用した作品制作の学習。 1: 企画・コンセプト計画 2: 個人制作「部屋と〇〇と私」木工制作、ミクストメディア 3: グループ課題「部屋と〇〇と私」木工制作 ミクストメディア 4: 鑑賞体験			
授業時間外学習	各課題について考え、準備する。各課題のレポート提出。 それぞれの生活の中で、また社会の中で豊かさを添えているアートなるものに目を向け、面白がり、考え、発見し或いは体験する。美術館、博物館、画廊等に行き美術作品に接し、幅広く知識を深めるとともに、美意識、審美眼を高め造形力を高める様努める。またほかのジャンルの芸術にも接し感性を高める様努める。			
授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	カリキュラムについて	オリエンテーション 課題の説明	授業時に終わらなかったレポートの提出。
02	知識／能力	部屋と〇〇と私 企画	自分自身を語るツールとして箱を作る。 自分を知るための演習 6面体の自分	授業で未完のものを仕上げる。
03	知識／能力	部屋と〇〇と私 制作	自分自身を語るツールとして箱を作る。箱制作 木材骨組み加工実習。	次週の課題のアイデアを考える。
04	知識／能力	部屋と〇〇と私 制作	自分自身を語るツールとして箱を作る。箱制作 木材骨組み加工実習。自由に素材・メディアを組み合わせる。	課題のアイデアを考える。
05	知識／能力	部屋と〇〇と私 制作	自分自身を語るツールとして箱を作る。箱制作 木材骨組み加工実習。自由に素材・メディアを組み合わせる。	課題のアイデアを考える。
06	知識／能力	部屋と〇〇と私 鑑賞	それぞれの制作した「部屋と〇〇と私」の課題を展示 鑑賞する。	授業内に終わっていない鑑賞課題を終わらせる。
07	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私達 屋外実習及びゲスト	各グループでテーマと課題を物語るスペースとしての作品を作る。演習	各グループでのテーマと課題をまとめる。
08	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2	各自のアイデアをラフスケッチにして、制作図面を作る。それを基に持参した素材でアイデア再考しアイデアを練り直す。	足らなかった材料を調達する。図面の手直し等して遅れた部分を制作する。

09	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2	テーマに沿って制作を進める。	足らなかった材料を調達する。遅れた部分を制作する。
10	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2	グループでテーマに沿って制作を進める。	足らなかった材料を調達する。制作を遂行する。
11	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2	グループ課題 部屋と〇〇と私 中間発表 制作	グループの中間発表、内容の把握制作の続き
12	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2	グループでテーマに沿って制作を進める。	制作の遅れてる分を取り戻す。
13	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2	テーマに沿って制作を進める。	制作の遅れてる分を取り戻す。
14	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2 展示準備 発表と鑑賞	それぞれの制作した「部屋と〇〇と私」の課題を展示 鑑賞する。	次回作品発表の準備をする。
15	知識／能力	グループ課題 部屋と〇〇と私2 発表と鑑賞 解体	それぞれの制作した「部屋と〇〇と私」の課題を展示 鑑賞する。	片付け

到達目標と学習成果

①知識レベル	造形制作の基礎知識
②能力レベル	立体物の認識、把握能力、共同制作力、作品制作の発想力、鑑賞能力

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	1	計画力	1	論理的思考力	1	分析力	
チームワーク力	1	社会的責任					

成績評価の基準と方法	A：課題制作に熱心取り組み、作品、レポートとも優れてる。 B：熱心取り組んではいるが、作品の完成度に一工夫が必要 C：制作態度に熱意が物足りなく、作品はできているが、アイデア、造形力も物足りない。 D：取り敢えず作品は提出されているが、完成の域には達していない。
教科書	教科書無し、適宜参考資料を配布又は提示、各自がネット、参考書で調べる。
参考図書	各自が必要に応じて見つけ調べる。
授業に関する質問等の方法	maedakohei@otemae.ac.jp
備考	実技実習費（材料費）について 2021年度以降の建築&芸術学部入学生および2021年度以降の建築&芸術学部編入生については、教育充実費に含まれているため、実技実習費（材料費）は徴収しません。 2020年度入学以前の建築&芸術学部学生および国際日本学部、現代社会学部の学生は実技実習費を別途徴収します。詳細はel-Campusをご覧ください。

開講年度	2023		開講学期	春学期	
科目コード	ZH0204		授業コード	40363	
科目名	立体造形基礎 I		開講曜日・時限	金曜1限 金曜2限	
担当教員名【代表】	前田 耕平				
担当教員					
授業形態	実技				
単位数	2単位				
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。				
授業の目的	等身大の自分を作ることから人体の形を把握し、その仕組みと構造を認識する。2次元（平面素材）の素材より3次元（立体造形）の表現方法を学ぶ。創造力を高める。				
授業の内容					
①能力開発メソッド	分析と積極的な行動、計画によって創造力を育む。合評で考えたことをプレゼンする。				
②課題レポート等	分析内容や最終プレゼンを文章にまとめる。				
③授業概要	段ボールを使って等身大の自分を制作。平面素材の段ボールを立体構成し、デフォルメ、抽象的な表現を模索、自立する全身像を完成する。				
授業時間外学習	作品イメージを明確にするためにラフスケッチを繰り返す。				
授業計画					
	目的	主題	概要	授業時間外学習	
01	知識／能力	知識：形と構造 能力：創造力を養う	導入、課題、日程等の説明。視覚に頼らない触覚優先の制作により空想力、創造力の向上。石粉粘土で造形トレーニング。視覚を覆い触覚優先で人の形を作る。	鉛筆で自画像素描。	
02	知識／能力	知識：形と構造 能力：観察力を養う	自分自身の体の形、寸法を調べて制作の参考にする。全身像のスケッチ。	鉛筆で自分の全身像素描。	
03	知識／能力	知識：形と構造 能力：計画力を養う	厚紙を使って10分の1の雛形を作る。	人体の実物、画像、写真から観察しておく。	
04	知識／能力	知識：形と構造 能力：計画力を養う	厚紙の雛形を完成する。	厚紙の雛形の制作。	
05	知識／能力	能力：創造力、技術力	厚紙の雛形を元に段ボールで制作する。	制作の計画を立てる。	
06	知識／能力	能力：創造力、技術力	厚紙を元に段ボールの下書きをする。	道具の使い方を確認して調べておく。	
07	知識／能力	能力：創造力、技術力	段ボールの下書きを元に切断する。	スケッチ。完成予想図。	
08	知識／能力	能力：創造力、技術力	組み立て方の確認、制作する。	接合、接着の方法を考える。	
09	知識／能力	能力：創造力、技術力	接合方法を考慮、部品の接合を行う。	着色、異素材の組み入れを考案。	
10	知識／能力	能力：創造力、技術力	木材、自然石、人工物、装飾品等の異素材を作品に組み込むことを発想してみる。	異素材のアイデアを考えておく。	
11	知識／能力	能力：創造力、技術力	異素材との接続、構成。	作品の構成を考える。	
12	知識／能力	能力：創造力、技術力	着色、制作する。	色付けの練習、準備をする。	
13	知識／能力	能力：創造力、技術力	作品の細部を整え、色付けを行う。	プレゼン内容を考えておく。	
14	知識／能力	能力：創造力、技術力	作品仕上げ。プレゼン内容の確認。	作品完成。プレゼン内容を考え文章にする。	

15	知識／能力	能力：比較分析力を高める	完成作品による合評。	プレゼンと課題発表。			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		ものの形を立体的に認識、分析できる。					
②能力レベル		認識、分析から新たな創造へ発展できる。					
C-PLATS (Level)到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	3	計画力	1	論理的思考力		分析力	2
チームワーク力		社会的責任					
成績評価の基準と方法	<p>課題提出物80%、制作への取り組み状況10%、合評での発表内容10%。評価は60%以上でD、70%以上でC、80%以上でB、90%以上でAとする。</p> <p>D評価、作品は提出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価、完成の域に達しているがオリジナリティまたは表現の工夫がない。</p> <p>B評価、完成度が高くオリジナリティと表現の工夫がある。</p> <p>A評価、熱心に取り組み完成度が特に高くオリジナリティと表現の工夫がある。またコンセプト説明に説得力がある。</p>						
教科書	必要とあらば適宜、技法書等を法令遵守の範囲内でコピーし配布する。						
参考図書	図書館で検索すること。						
授業に関する質問等の方法	maedakohei@otemae.ac.jp						
備考	<p>実技実習費（材料費）について</p> <p>2021年度以降の建築&芸術学部入学生、及び編入生、又2021年以降の建築&芸術学部への転部生については、教育充実費に含まれているため、実技実習費（材料費）は徴収しません。</p> <p>2020年度入学以前の建築&芸術学部学生、及び国際日本学部、現代社会学部、経営学部の学生は実技実習費を別途徴収します。詳細はel-Campusをご覧ください。</p>						

開講年度	2023		開講学期	秋学期
科目コード	ZH0205		授業コード	45305
科目名	立体造形基礎Ⅱ		開講曜日・時限	金曜1限 金曜2限
担当教員名【代表】	前田 耕平			
担当教員				
授業形態	実技			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			
授業の目的	ジオラマ（幻視画）とマケット彫刻作品（模型）の制作により、空間構成する力をつける。創造力を高める。立体造形の制作技術を身につける。			
授業の内容				
①能力開発メソッド	分析と積極的な行動、計画によって創造力を育む。合評で考えたことをプレゼンする。			
②課題レポート等	分析内容や最終プレゼンを文章にまとめる。			
③授業概要	既知の場所、或いは任意の場所や空間を450×450×450mmサイズのジオラマで表現し、そのジオラマ空間に相応しい彫刻作品（ミニチュア）、ストリートファニチャーを考え設置する。			
授業時間外学習	作品イメージを明確にするためにラフスケッチを繰り返す。ジオラマについて調べる。マケット（彫刻模型）について調べる。			
授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	知識：形と構造 能力：創造力を養う	導入、課題、日程等の説明。ジオラマの作品、マケット作品、素材と制作方法、作例紹介。	ジオラマについて調べておく。
02	知識／能力	知識：形と構造 能力：創造力を養う	スチレンボードの加工、作品のサイズを決める。	ジオラマにする風景テーマを考える。
03	知識／能力	知識：形と構造 能力：計画力を養う	ジオラマの風景を模索する。スケッチ。	ジオラマに使用する立体物の素材を調べる。
04	知識／能力	知識：形と構造 能力：計画力を養う	スケッチに従ってジオラマ制作。粘土、木材、スチレンボード等の材料。	立体造形の素材を調べる。
05	知識／能力	能力：創造力、技術力	ジオラマの制作。中に設置する彫刻作品（模型）を考える。スケッチ。	模型のスケッチ。
06	知識／能力	能力：創造力、技術力	ジオラマと模型の制作。スケッチ。	模型の制作。
07	知識／能力	能力：創造力、技術力	ジオラマの完成を目指す。模型の制作。	スケッチ。完成予想図。
08	知識／能力	能力：創造力、技術力	模型をジオラマに設置。	スケッチで立体構成の模索。
09	知識／能力	能力：創造力、技術力	模型の配置等の調整。制作。	素材の組み入れを考案。
10	知識／能力	能力：創造力、技術力	模型とジオラマの制作。スケール、バランスを確認する。	配色を考える。
11	知識／能力	能力：創造力、技術力	素材の構成と配置、模型とジオラマ制作。着色。	作品の構成を考える。
12	知識／能力	能力：創造力、技術力	着色、構成、制作する。	制作。
13	知識／能力	能力：創造力、技術力	作品の細部を整え、色付けを行う。	プレゼン内容を考えておく。
14	知識／能力	能力：創造力、技術力	作品仕上げ。プレゼン内容の確認。	作品完成。プレゼン内容を考え文章にする。

15	知識／能力	能力：作品の言語化	完成作品による合評。	プレゼンと課題発表。			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		ものの形を立体的に認識、分析できる。立体作品を言語化する。					
②能力レベル		認識、分析から新たな創造へ発展できる。立体造形の加工技術を身につけることができる。					
C-PLATS (Level)到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	3	計画力	2	論理的思考力		分析力	1
チームワーク		社会的責任					
成績評価の基準と方法		<p>課題提出物80%、制作への取り組み状況10%、合評での発表内容10%。評価は60%以上でD、70%以上でC、80%以上でB、90%以上でAとする。</p> <p>D評価、作品は提出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価、完成の域に達しているがオリジナリティまたは表現の工夫がない。</p> <p>B評価、完成度が高くオリジナリティと表現の工夫がある。</p> <p>A評価、熱心に取り組む完成度が特に高くオリジナリティと表現の工夫がある。またコンセプト説明に説得力がある。</p>					
教科書		必要とあらば適宜、技法書等を法令遵守の範囲内でコピーし配布する。					
参考図書		図書館で検索すること。					
授業に関する質問等の方法		maedakohei@otemae.ac.jp					
備考		<p>実技実習費（材料費）について</p> <p>2021年度以降の建築&芸術学部入学生、及び編入生、又2021年以降の建築&芸術学部への転部生については、</p> <p>教育充実費に含まれているため、実技実習費（材料費）は徴収しません。</p> <p>2020年度入学以前の建築&芸術学部学生、及び国際日本学部、現代社会学部、経営学部の学生は</p> <p>実技実習費を別途徴収します。詳細はeI-Campusをご覧ください。</p>					

開講年度	2023		開講学期	春学期
科目コード	ZH0801		授業コード	40478
科目名	ゼミナールⅠ（建築&芸術学部）		開講曜日・時限	木曜5限
担当教員名【代表】	前田 耕平			
担当教員				
授業形態	演習			
単位数	2単位			
メジャー名	-			
授業の目的	人に役立つことや地域に貢献することを目的とする。グループまたは個別で形あるものにする。			
授業の内容				
①能力開発メソッド	一から考え構築,貢献する。地域、市役所など社会人と交渉する。			
②課題レポート等	グループの行動計画書、企画書、報告書等			
③授業概要	<p>社会貢献と人に役立つプロジェクトをグループまたは個人で行う。昨年度より継続しているプロジェクトもあり、新たに市役所と交渉をしてそれなりの成果を出すこと。3Dプリンターを用いて制作または研究をしてもよい。</p> <p>本授業では、自分の身についたことや成長に関して、専門外の相手に対して実証（プレゼンテーション）することを必須とします。</p>			
授業時間外学習	<p>企業、個人商店との交渉やインタビュー等々は、授業時間以外に行うことが多く、グループで計画を立てる。また、報告書などを次週までに作成し提出すること。</p> <p>教育ボランティアの前でプレゼンテーションし、質疑応答を行います。</p>			
授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	知識：昨年までの取り組みを知り分析する。	オリエンテーション	過去の過去の取り組みを調べる
02	知識／能力	能力：個別調査、行動力	イベントなどの検索	次週に向け報告書の作成
03	知識／能力	能力：プレゼン	調査結果の発表	今後の計画をまとめておく
04	知識／能力	能力：グループの形成	方向性の決定	今後の計画をまとめておく
05	知識／能力	知識：資料収集	詳しく調査するための会議	授業までに企画書の作成
06	知識／能力	能力：学外で交渉する	市役所等との交渉	授業までに企画書の作成
07	知識／能力	能力：グループでプレゼン	グループによる発表	発表の練習を個人またはグループで取り組む
08	知識／能力	能力：創作力	決定した方向の制作開始	これ以降、進捗状況によっては授業外に制作する場合がある。
09	知識／能力	能力：創作力	制作（2）	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める（時間の目安として1時間程度、以下同様）
10	知識／能力	能力：創作力	制作（3）	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。
11	知識／能力	能力：創作力	制作（4）	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。
12	知識／能力	能力：創作力	制作（5）	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。

13	知識／能力	能力：創作力	制作（6）	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。			
14	知識／能力	能力：創作力	制作（7）	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。			
15	知識／能力	能力：プレゼン	半期のまとめ、成果発表会、授業アンケート	パワーポイントまたは作品の提出			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		イベントの企画書、計画書、商品開発プランなど実社会で通用するレベルの知識と思慮を発揮することができる。					
②能力レベル		必要な資料を収集し、プレゼンやミーティング等に生かすことができる。社会人や企業、個人商店と交渉し、企画を立てて提案することができる。					
C-PLATS (Level)到達基準							
コミュニケーション	2	プレゼンテーション	2	リーダーシップ	2	行動力	3
創造力	2	計画力	2	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク	2	社会的責任	2				
成績評価の基準と方法	プロジェクト達成度80%、取り組み姿勢とレポート、資料、スケッチ等10%、学期末の報告でのプレゼンを10%で評価する。評価基準は数値化（点数化）の上、60点以上をD、70点以上をC、80点以上をB、90点以上をAとする。グループ活動の場合も個々の貢献度と提出物で採点する。 D評価・プロジェクトの達成度が低く、提出物が出されているが完成の域に達していない。 C評価・プロジェクトは行ったが成果が充分とは判断できず、提出物は完成の域に達しているがオリジナリティがない。 B評価・プロジェクトの達成度が高く、オリジナリティがある。 A評価・熱心に取り組み、プロジェクトの達成度が特に高く、オリジナリティがある。また学期末のプレゼンに説得力がある。						
教科書	なし						
参考図書	適宜紹介						
授業に関する質問等の方法	maedakohei@otemae.ac.jp						
備考	費用が発生する場合は、話し合って負担しあう場合がある。						

開講年度	2023		開講学期	秋学期	
科目コード	ZH0802		授業コード	45421	
科目名	ゼミナールⅡ（建築&芸術学部）			開講曜日・時限	木曜5限
担当教員名【代表】	前田 耕平				
担当教員					
授業形態	演習				
単位数	2単位				
メジャー名	-				
授業の目的	人に役立つことや地域に貢献することを目的とする。春学期の継続または別のプロジェクトに合流しても良い。さらに新たなプロジェクトを立ち上げて良い。				
授業の内容					
①能力開発メソッド	一から考え構築、地域貢献,社会人と交渉する。				
②課題レポート等	グループの行動計画書、企画書、報告書等				
③授業概要	<p>■授業実施方法：対面 春学期のプロジェクトを継続するか、他のプロジェクトに加わるか個人で判断する。新たにプロジェクトを個人またはグループで立ち上げて良い。人の役に立つことや社会貢献について理解を深め、成果が説得を持つものとなるように、計画、行動、創作等すること。3Dプリンターを用いて制作または研究してもよい。</p> <p>本授業では、自分の身についたことや成長に関して、専門外の相手に対して実証（プレゼンテーション）することを必須とします。</p>				
授業時間外学習	<p>市役所との交渉やインタビュー等々は、授業時間以外に行うことが多く、グループで計画を立てる。また、報告書などを次週までに作成し提出すること。</p> <p>教育ボランティアの前でプレゼンテーションし、質疑応答を行います。</p> <p>教育ボランティア面談実施後振り返りレポート課題があります。</p>				
授業計画					
	目的	主題	概要	授業時間外学習	
01	知識／能力	知識：春学期を振り返り分析する。	オリエンテーション		
02	知識／能力	能力：交渉する	制作（1）と交渉	次週までに企画書をまとめておく	
03	知識／能力	能力：交渉する	制作（2）または交渉	3Dプリンターを使用する場合は、10回目までにプログラムを作成すること	
04	知識／能力	能力：創作力	制作（3）	空き時間を使って制作をすすめる（時間の目安として1時間程度、以下同様）	
05	知識／能力	知識：資料収集	制作（4）	空き時間を使って制作をすすめる。	
06	知識／能力	能力：創作	制作（5）	次週までに報告者を作成	
07	知識／能力	能力：グループでプレゼン	グループによる中間発表	空き時間を使って制作をすすめる。	
08	知識／能力	能力：創作力	制作(6)	進捗状況によっては授業外に制作する。	
09	知識／能力	能力：創作力	制作（7）	時間外に制作をすすめる。	
10	知識／能力	能力：創作力	制作（8）	3Dプリンターを使用する場合には、3次元の設計図をプログラムしておくこと	
11	知識／能力	能力：創作力	制作（9）	時間外の日時を組んで、3Dプリンターを可動させる	
12	知識／能力	能力：創作力	制作（10）	次回までにプレゼンの準備をする	

13	知識／能力	能力：創作力	クラス内プレゼン				
14	知識／能力	能力：創作力	制作（11）と成果物を持って行く			次週までにまとめのレポートを作成する	
15	知識／能力	能力：プレゼン	一年間のまとめ、成果発表会、授業アンケート				
到達目標と学習成果							
①知識レベル		インタビュー記事の作成、映像の脚本等、実社会で通用するレベルの知識と思慮を発揮することができる。					
②能力レベル		必要な資料を収集し、プレゼンやミーティング等に生かすことができる。社会人と交渉し、企画を立てて提案できる。					
C-PLATS (Level)到達基準							
コミュニケーション	2	プレゼンテーション	2	リーダーシップ	2	行動力	3
創造力	2	計画力	2	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力	2	社会的責任	2				
成績評価の基準と方法	<p>プロジェクト達成度80%、取り組み姿勢とレポート、資料、スケッチ等10%、学期末の報告でのプレゼンを10%で評価する。評価基準は数値化（点数化）の上、60点以上をD、70点以上をC、80点以上をB、90点以上をAとする。グループ活動の場合も個々の貢献度と提出物で採点する。</p> <p>D評価・プロジェクトの達成度が低く、提出物が出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価・プロジェクトは行ったが成果が充分とは判断できず、提出物は完成の域に達しているがオリジナリティがない。</p> <p>B評価・プロジェクトの達成度が高く、オリジナリティがある。</p> <p>A評価・熱心に取り組み、プロジェクトの達成度が特に高く、オリジナリティがある。また学期末のプレゼンに説得力がある。</p>						
教科書	なし						
参考図書	適宜紹介						
授業に関する質問等の方法	maedakohei@otemae.ac.jp						
備考	<p>費用が発生する場合は、話し合って負担しあう場合がある。</p> <p>教育ボランティアの前でプレゼンテーションし、質疑応答を行います。</p> <p>11月下旬（予定）の教育ボランティア面談に参加すること。</p>						

開講年度	2023	開講学期	春学期
科目コード	ZH0807	授業コード	40489
科目名	卒業制作（建築&芸術学部）	開講曜日・時限	春学期（金曜3限 金曜4限）、秋学期（金曜3限 金曜4限）
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員			
授業形態	演習		
単位数	4単位		
メジャー分類	-		
授業の目的	4年間で培われた知識と技術を生かし、集大成としての企画、制作、研究を行う。最終段階では全学プレゼンと卒業制作展で発表する。ゼミナールの延長線として更に研究を深め企画を進めるのも良い。または新たに制作または研究を始めても良い。		
授業の内容			
①能力開発メソッド	半期ごとの計画書作成する。企画書、報告書、研究レポート作品の展示発表等		
②課題レポート等	作品のコンセプト案, イベントの企画書, 報告書、その他研究レポート等		
③授業概要	■授業実施方法：対面 地域に貢献し「人の役に立つ」を基本コンセプトとして、また4年間の集大成として制作したいもの、研究し深めてきたものを一つに絞り一年間かけて取り組む。プレゼンと卒業制作展で発表する。		
授業時間外学習	立体の制作や研究には時間が掛かるので、授業時間以外の使用できる時間帯とスペースを確保して積極的に制作や研究を進めること。 卒業制作展の自作の前でプレゼンを行う。		
授業計画			
	目的	主題	概要
01	知識／能力	知識;企画書またはコンセプト案の応用力	オリエンテーション（年間）
02	知識／能力	知識;企画書またはコンセプト案の応用力	個別面接
03	知識／能力	能力：スケジュール管理と計画力	個別面接
04	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(1)
05	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(2)
06	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(3)
07	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(4)
08	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(5)
09	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(6)
10	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(7)
11	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(8)
12	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(9)
			授業時間外学習
			次週までにコンセプト案または研究概要を提出
			次週までに素材および技法の確認または研究方法の計画書を準備
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること（時間的目安として2時間程度、以下同様）
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
			制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。

13	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(10)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
14	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(11)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
15	知識／能力	能力：創作力	中間合評。授業アンケート	春学期振り返りシートの提出
16	知識／能力	能力：創作力	後半期の計画書の見直し	計画書を修正作成し提出
17	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(12)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
18	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(13)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
19	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(14)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
20	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(15)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
21	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(16)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
22	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(17)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
23	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(18)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
24	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(19)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
25	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(20)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
26	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(21)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
27	知識／能力	能力：創作力	制作・研究(22)	制作の進行状況が遅い場合、次週末までの空き時間に制作すること。
28	知識／能力	知識：造形の言語化	プレゼンの準備	作品の着想、技法、素材と手順、表現の内容、工夫点、4年間の学びとの関連や今後に生かすことを1000字にまとめる。
29	知識／能力	知識：造形の言語化	発表、展示に向けての準備	発表内容を見直し、スピーチの練習をする。
30	知識／能力	知識：造形の言語化	発表、展示に向けての準備	プレゼン当日までに繰り返し練習する。

到達目標と学習成果

①知識レベル	造形作品の言語化ができる。企画書またはコンセプト案、研究成果を論理的に作成できる。
②能力レベル	創作力を発揮し、自分の思い描いた世界が構築できる。研究分析を深め論理的構造を明確にすることができる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション		プレゼンテーション	3	リーダーシップ		行動力	3
創造力	3	計画力	3	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力		社会的責任	3				

成績評価の基準と方法	<p>作品提出物80%、課題への取り組み姿勢とレポート、資料、スケッチ等10%、合評とプレゼン10%で評価する。評価基準は数値化(点数化)の上、60点以上をD、70点以上をC、80点以上をB、90点以上をAとする。</p> <p>D評価・作品は提出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価・完成の域に達しているがオリジナリティまたは表現の工夫がない。</p> <p>B評価・完成度が高く、オリジナリティと表現の工夫がある。</p> <p>A評価・熱心に取り組み、完成度が特に高く、オリジナリティと表現の工夫がある。またコンセプト説明に説得力がある。</p> <p>F評価・作品の提出が出来ていない。</p>
------------	--

教科書	なし
参考図書	適宜紹介

授業に関する質問等の方法	maedakohei@otemae.ac.jp
備考	別途、実習費を徴収（実技以外は要相談）